

平成26年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成26年10月

目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・調査内容	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 平均正答率の比較	3
(2) 正答数分布の比較	5
(3) 平均正答率が高い問題・低い問題	9
(4) 設問別の概要・分析	17
(5) 平均正答率が低い活用問題から	27
4 児童生徒質問紙から見える特徴	40
(1) 肯定的な回答の割合が全国平均より高い質問	41
(2) 肯定的な回答の割合が全国平均より低い質問	42
(3) 質問ごとの分析	43
5 総括	45
(1) 学力調査の結果から	46
(2) 児童生徒質問紙の結果から	47
(3) 考察	47

平成26年度 全国学力・学習状況調査について

1 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象者・実施日・調査内容

(1) 調査対象者

市立小学校	63校	第6学年児童	4,518人
市立中学校	26校	第3学年生徒	4,273人

(2) 実施日 平成26年4月22日(火)

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語及び算数・数学）
 - ・ A問題（主として「知識」に関する問題）
 - ・ B問題（主として「活用」に関する問題）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・ 児童生徒質問紙（児童生徒に対する調査）
 - ・ 学校質問紙（学校に対する調査）

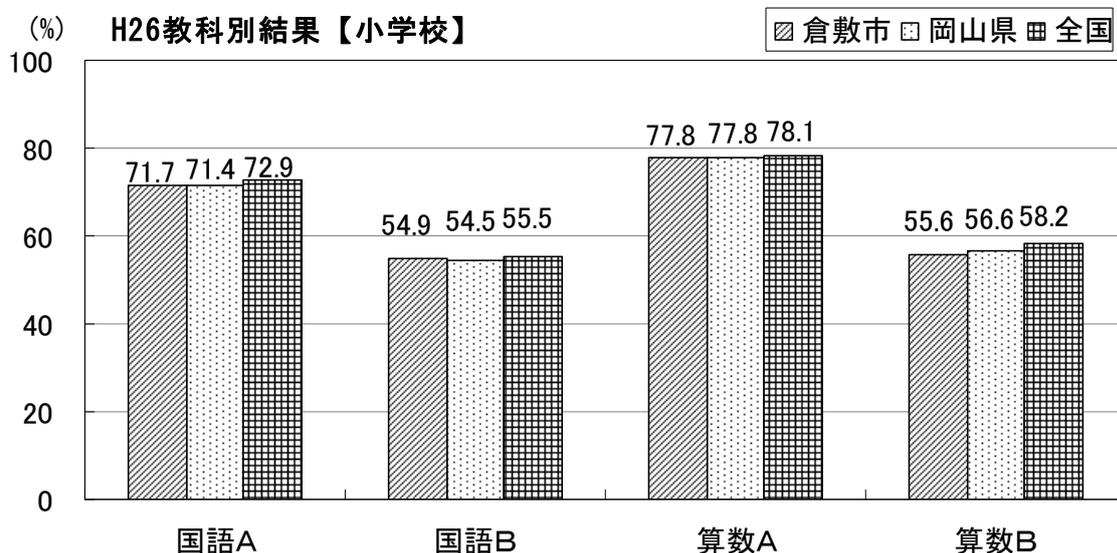
本報告書の数値は、国立・私立学校を除く、公立学校の数値のため、他の報告書等で公表されている数値と、小数点以下のポイントに多少の差異が生じている場合がある。

3 倉敷市の学力の特徴

(1) 平均正答率の比較

【小学校】

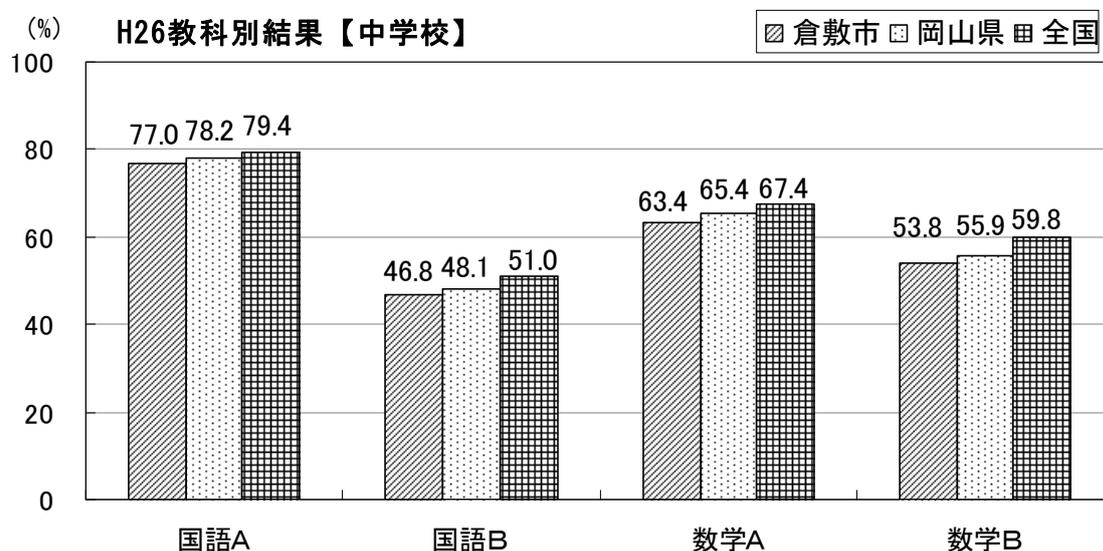
	国語A		国語B		算数A		算数B	
	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
倉敷市平均	71.7	62.0	54.9	48.7	77.8	74.3	55.6	58.0
岡山県平均	71.4	61.4	54.5	47.7	77.8	74.6	56.6	57.2
全国平均	72.9	62.7	55.5	49.4	78.1	77.2	58.2	58.4
県との差	+0.3	+0.6	+0.4	+1.0	0.0	-0.3	-1.0	+0.8
国との差	-1.2	-0.7	-0.6	-0.7	-0.3	-2.9	-2.6	-0.4



- H25と比較すると、国語Aでは9.7ポイント平均正答率が上がり7割を超え、算数Aでは3.5ポイント上がり8割近い数字になっている。
- 国語Bでは6.2ポイント上がり、算数Bでは2.4ポイント下がっており、活用問題では、どちらも55%前後の平均正答率になっている。
- H26の県平均との比較では、国語A・Bはやや上回り、算数Aは同じ、算数Bはやや下回っている。全国平均との比較では、4領域ともやや下回っている。
- H25と比較すると、算数Aに改善が見られ、全国との差は-2.9ポイントから-0.3ポイントに、県との差は-0.3ポイントから±0に縮まった。
- 一方算数Bでは、全国との差は-0.4ポイントから-2.6ポイントに、県との差は+0.8ポイントから-1.0ポイントになり、課題が見られる。

【中学校】

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25
倉敷市平均	77.0	75.9	46.8	66.4	63.4	61.6	53.8	39.4
岡山県平均	78.2	76.4	48.1	66.4	65.4	62.8	55.9	40.3
全国平均	79.4	76.4	51.0	67.4	67.4	63.7	59.8	41.5
県との差	-1.2	-0.5	-1.3	0.0	-2.0	-1.2	-2.1	-0.9
国との差	-2.4	-0.5	-4.2	-1.0	-4.0	-2.1	-6.0	-2.1



○H25と比較すると、基礎問題では国語も数学も平均正答率に大きな差はない。活用問題では国語は19.6ポイント下がり、数学は14.4ポイント上がっており、国語Bの難易度が高かったと考えられる。

○H26の県平均との比較では、各領域で-1.2ポイントから-2.1ポイント、全国平均との比較では-2.4ポイントから-6.0ポイント差があり、いずれも平均値を下回っている。特に数学Bに課題がある。

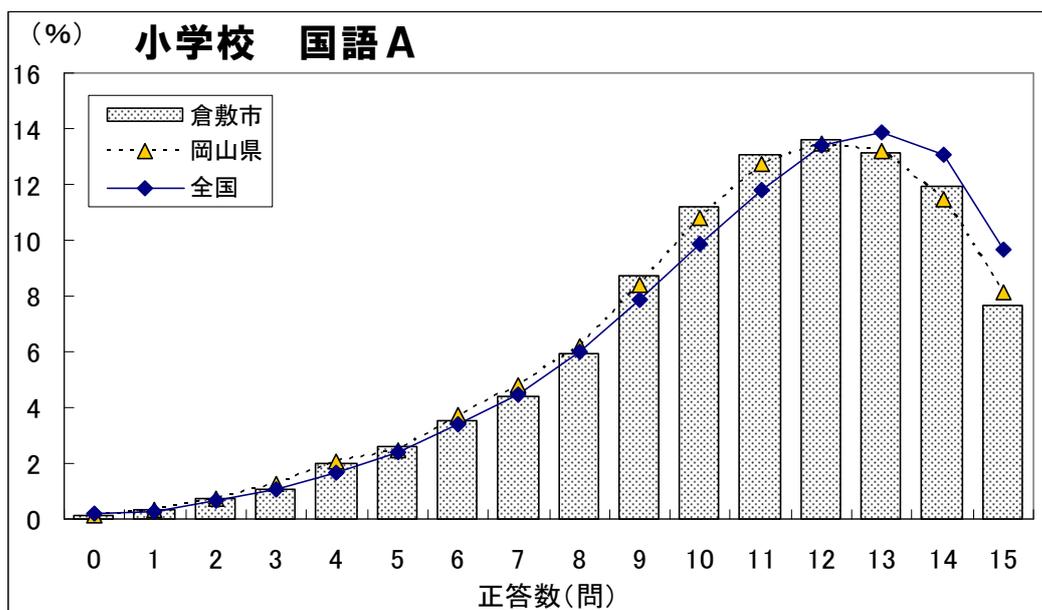
○H26の調査を受けた生徒が、H24の入学時に実施した岡山県学力・学習状況調査の数値と比較すると、改善の傾向が見られる。

※参考

[平成24年度岡山県学力・学習状況調査の県平均との差]

・国語(基礎)-1.4ポイント・国語(活用)-2.4ポイント・数学(基礎)-1.9ポイント・数学(活用)-3.0ポイント

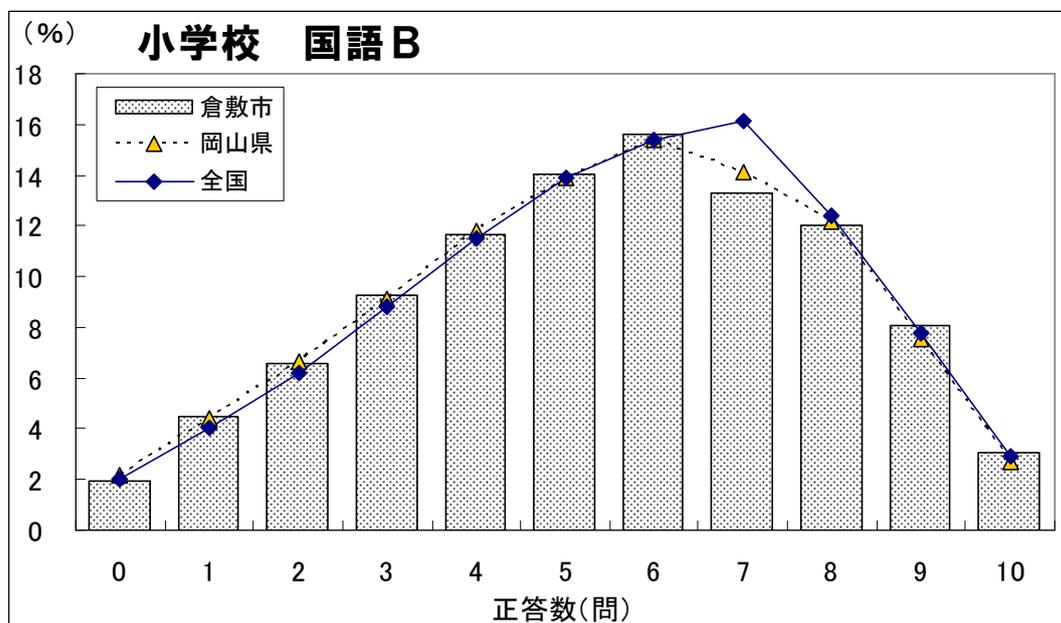
(2) 正答数分布の比較



○岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。(平均正答率の差: +0.3ポイント)

○全国と比べると、全15問中13問以上正答の上位層の割合がやや低く、9問~12問正答の中位層の割合がやや高い。(平均正答率の差: -1.2ポイント)

○中央値は、全国12に対して、倉敷市は11。(岡山県と同じ)

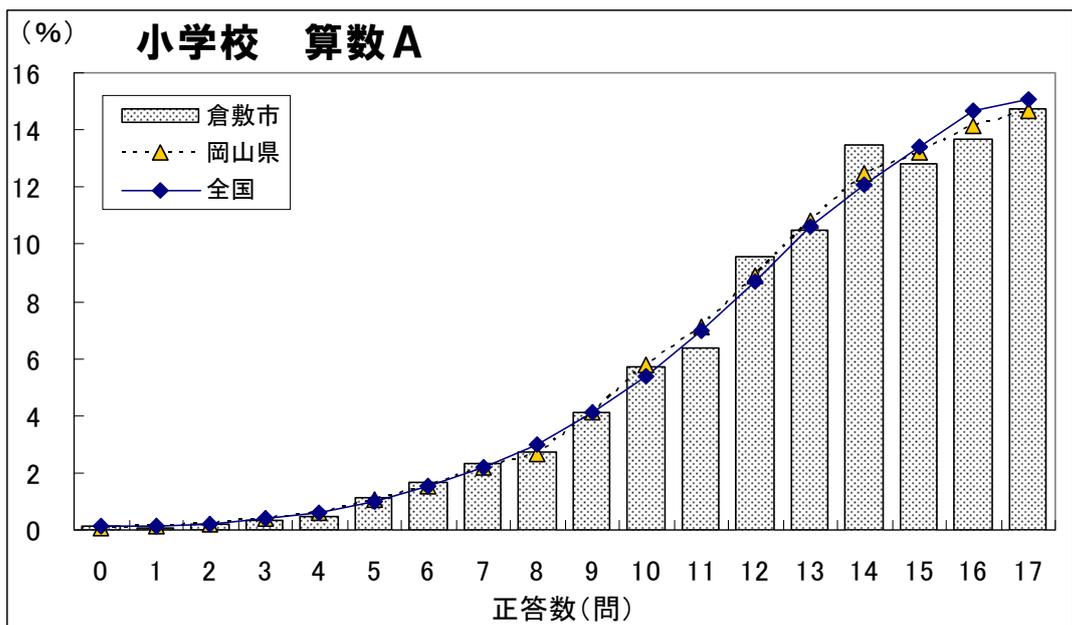


○岡山県と比べると、ほぼ同様な正答数分布となっている。(平均正答率の差: +0.4ポイント)

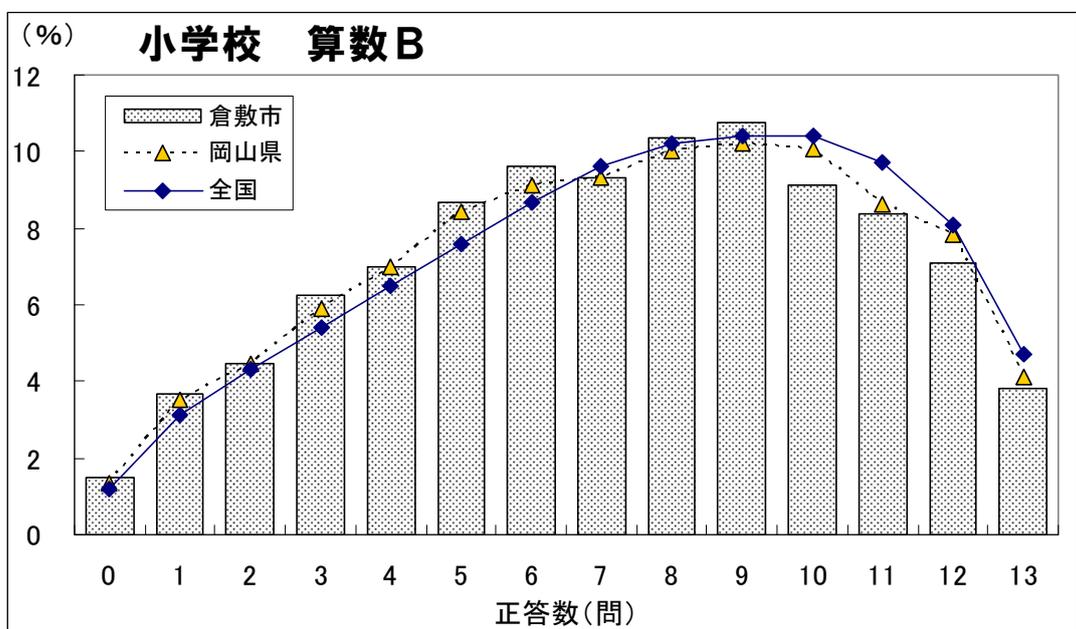
○全10問中9・10問正答の上位層の割合が、わずかではあるが、全国及び岡山県より高い。

○全国と比べると、7問正答の児童が3ポイント近く低く、全体の分布の中では、顕著な差となっている。(平均正答率の差: -0.6ポイント)

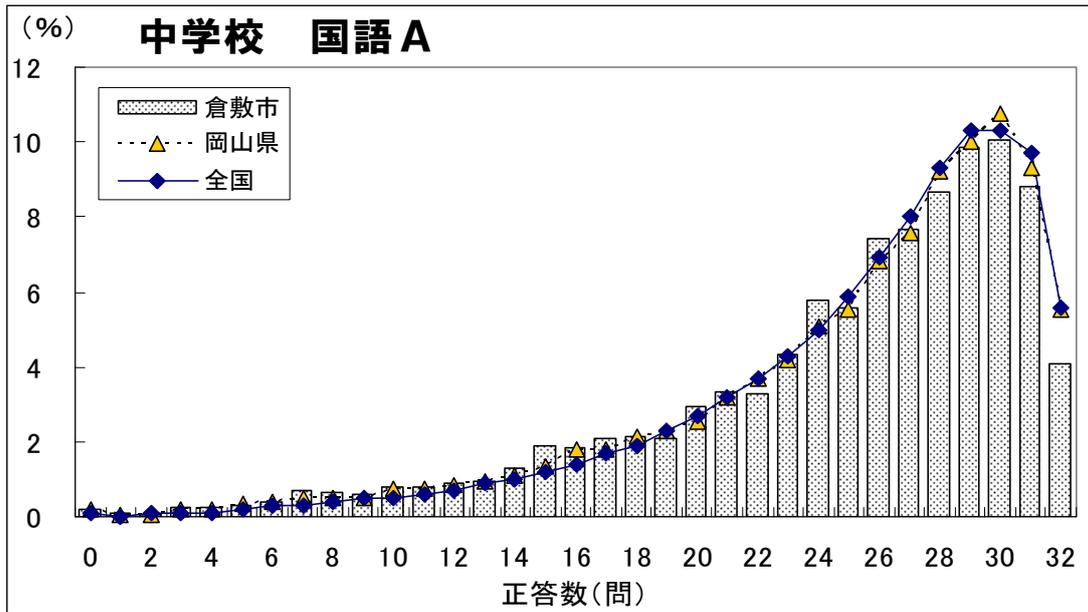
○中央値は、全国・県・市ともに6。



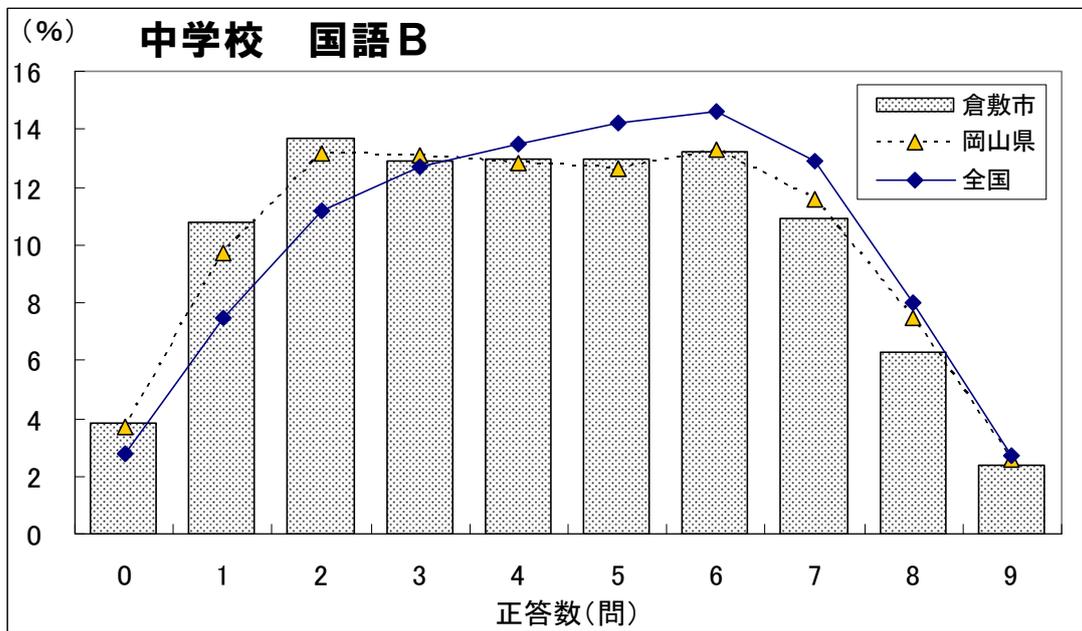
- 岡山県と比べると、平均正答率は77.8%で同じだが、正答数分布は上位層、中位層でやや高低がある。
- 全国と比べると、全17問中15問以上正答の上位層の割合わずかに低い。
(平均正答率の差: -1.2ポイント)
- 中央値は、全国・県・市ともに14。



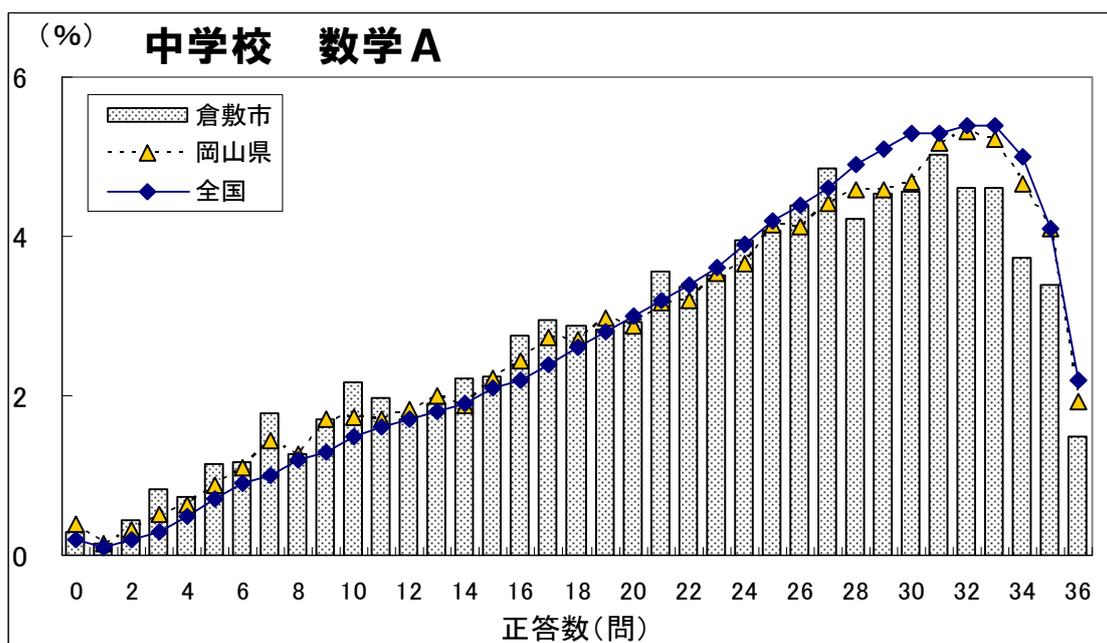
- 全13問中10問以上正答の上位層の割合が、全国及び岡山県よりやや低く、中位層・下位層の割合がやや高い。
- 中央値は、全国・岡山県8に対して、倉敷市は7。



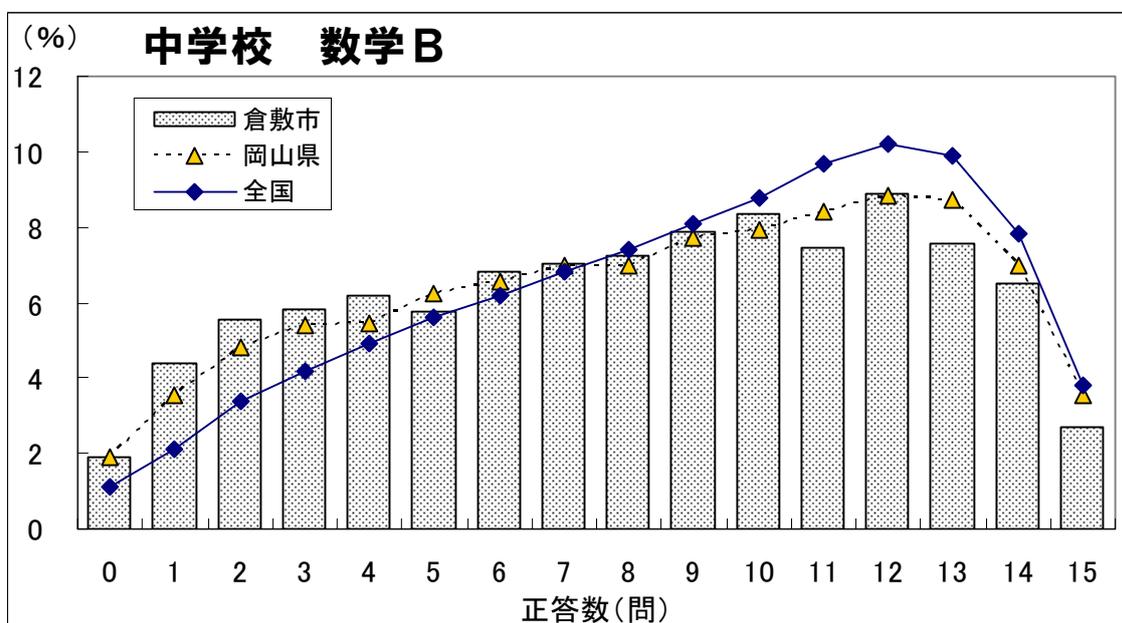
- 全国・岡山県と比べると、上位層の割合が低く、中・下位層の割合が高い。
(国との平均正答率の差: -2.4ポイント, 県との平均正答率の差: -1.2ポイント)
- 中央値は、全国・岡山県 27 に対して、倉敷市は 26。



- 全国・岡山県と比べると、上位層の割合が低く、中・下位層の割合が高い。
(国との平均正答率の差: -4.2ポイント, 県との平均正答率の差: -1.3ポイント)
- 県と同様に正答数分布に二極化の傾向が見られ、その傾向は県よりも強い。
- 中央値は、全国 5 に対して、倉敷市は 4。(岡山県と同じ)



- 全国・岡山県と比べると、上位層の割合が低く、中・下位層の割合が高い。
(国との平均正答率の差: -4.0ポイント, 県との平均正答率の差: -2.0ポイント)
- 中央値は、全国 26・岡山県 25 に対して、倉敷市は 24。



- 全国・岡山県と比べると、上位層の割合が低く、下位層の割合が高い。
(国との平均正答率の差: -6.0ポイント, 県との平均正答率の差: -2.1ポイント)
- 中央値は、全国 10・岡山県 9 に対して、倉敷市は 8。

(3) 平均正答率が高い問題・低い問題

【小学校】

◆各教科で、平均正答率が全国平均以上の主な問題

国 語	[1二(3)] 漢字を書く。(かぜをよぼうする) ☆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。	市	86.4
		国	77.4
		差	+9.0
A	[6一] 「～たり，・・・たり」と言う表現に直して書く。 ☆複数の事柄を並列の関係で書く。	市	76.3
		国	74.9
		差	+1.4

国 語	[1一] 司会④の発言をまとめて書く。 ☆目的に応じて、話合いの観点を整理する。	市	65.4
		国	65.2
		差	+0.2
B	[3三] 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く。 ☆二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。	市	48.1
		国	48.1
		差	±0

算 数	[1(5)] $100 - 20 \times 4$ を計算する。 ☆減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。	市	90.4
		国	80.9
		差	+9.5
A	[5(1)] 直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く。 ☆円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる。	市	86.4
		国	83.9
		差	+2.5

算 数	[4(1)] アのリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く。 ☆繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、それを基に小節数を求めることができる。	市	63.1
		国	62.2
		差	+0.9
B	[2(2)] 1目盛りを50㎡として学校の水の使用量を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く。 ☆最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる。	市	69.6
		国	69.1
		差	+0.5

【小学校】

◆各教科で、平均正答率が高い主な問題

国 語 A	[1二(1)] 漢字を書く。(料理をのせた <u>さら</u> を運ぶ) ☆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。	市	98.1
		国	97.8
		差	+0.3
	[1一(1)] 漢字を読む。(道路の <u>標識</u> を見る) ☆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。	市	91.4
		国	91.7
		差	-0.3

国 語 B	[3一(1)] 【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する。 ☆二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える。	市	79.1
		国	80.4
		差	-1.3
	[2一] 付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く。 ☆付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉える。	市	71.6
		国	71.9
		差	-0.3

算 数 A	[1(1)] $46 + 57$ を計算する。 ☆繰り上がりのある加法の計算をすることができる。	市	97.5
		国	96.9
		差	+0.6
	[1(2)] 903×6 を計算する。 ☆被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。	市	92.5
		国	92.8
		差	-0.3

算 数 B	[1(1)] 示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。 ☆示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数) \times (1位数)の筆算をすることができる。	市	94.5
		国	94.6
		差	-0.1
	[2(1)] 6・7月の水の使用量 1500m^3 は、プールに入る水の量 250m^3 の何倍かを求める式と答えを書く。 ☆示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる。	市	81.5
		国	82.5
		差	-1.0

【中学校】

◆各教科で、平均正答率が全国平均以上またはその差が少ない問題

国 語 A	[8 五 1] 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(まうけて)。 ☆歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。	市	81.1
		国	80.3
		差	+0.8
	[8 三 才] 適切な敬語を選択する。 (お客様, 私が校内をご案内します)。 ☆語句の意味を理解し, 文脈の中で適切に使う。	市	92.5
		国	93.0
		差	-0.5

国 語 B	[2 一] 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する。 ☆複数の資料を比較して読み, 要旨を捉える。	市	31.9
		国	31.4
		差	+0.5
	[3 一] 演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する。 ☆本や文章から, 目的に応じて必要な情報を読み取る。	市	49.9
		国	52.0
		差	-2.1

数 学 A	[1 (3)] -7 の絶対値を書く。 ☆絶対値の意味を理解している。	市	83.1
		国	81.0
		差	+2.1
	[1 4 (2)] 樹形図を利用して, 3枚の硬貨を同時に投げるとき, 表が2枚, 裏が1枚出る確率を求める。 ☆樹形図などを利用して, 確率を求めることができる。	市	66.8
		国	65.1
		差	+1.7

数 学 B	[1 (1)] 案内図を基に, 経路を示すはり紙を選ぶ。 ☆与えられた図から情報を適切に選択し, 空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる。	市	74.0
		国	77.0
		差	-3.0
	[1 (2)] 案内図を基に, 経路を示すはり紙を選ぶ。 ☆与えられた図から情報を適切に選択し, 空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる。	市	89.2
		国	92.8
		差	-3.6

【中学校】

◆各教科で、平均正答率が高い主な問題

国 語 A	[8三イ] 適切な語句を選択する。(先のことは分からないが、 <u>と</u> <u>りあえず</u> 準備だけはしておこう) ☆語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	市	94.9
		国	96.2
		差	-1.3
	[8二3] 漢字を読む。(新記録に <u>挑む</u>) ☆文脈に即して漢字を正しく読む。	市	94.3
		国	95.2
		差	-0.9
国 語 B	[3二] 殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する。 ☆落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する。	市	62.5
		国	67.2
		差	-4.7
	[1一] 標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する。 ☆表現の技法について理解する。	市	60.7
		国	65.3
		差	-4.6
数 学 A	[4(1)] 線対称な図形を完成する。 ☆対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができる。	市	91.7
		国	93.8
		差	-2.1
	[2(2)] $10xy \div 5x$ を計算する。 ☆単項式どうしの除法の計算ができる。	市	87.9
		国	90.7
		差	-2.8
数 学 B	[1(2)] 外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ。 ☆日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる。	市	89.2
		国	92.8
		差	-3.6
	[6(2)] 兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ。 ☆グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる。	市	74.4
		国	79.8
		差	-5.4

【小学校】

◆各教科で、平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい主な問題

国 語 A	[2一] 故事成語の使い方として適切なものを選択する。 (五十歩百歩) ☆故事成語の意味と使い方を理解する。	市	48.2
		国	55.8
		差	-7.6
	[2二] 故事成語の使い方として適切なものを選択する。 (百聞は一見にしかず) ☆故事成語の意味と使い方を理解する。	市	43.4
		国	49.9
		差	-6.5
国 語 B	[2三] 疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く。 ☆課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読む。	市	64.2
		国	66.0
		差	-1.8
	[3一(1)] 【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する。 ☆本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る。	市	79.1
		国	80.4
		差	-1.3
算 数 A	[2(2)] 示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。 ☆割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している。	市	49.7
		国	54.1
		差	-4.4
	[5(2)] 1cm ³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。 ☆体積の単位(1cm ³)と測定について理解している。	市	77.6
		国	81.1
		差	-3.5
算 数 B	[4(2)] 二人の①のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く。 ☆二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる。	市	54.5
		国	60.5
		差	-6.0
	[2(3)] 6・7月の水の使用量が1年間の水の使用量の1/4より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ。 ☆全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる。	市	55.6
		国	61.5
		差	-5.9

【小学校】

◆各教科で、平均正答率が低い主な問題

国語 A	[2二] 故事成語の使い方として適切なものを選択する。 (百聞は一見にしかず) ☆故事成語の意味と使い方を理解する。	市	43.4
		国	49.9
		差	-6.5
	[2一] 故事成語の使い方として適切なものを選択する。 (五十歩百歩) ☆故事成語の意味と使い方を理解する。	市	48.2
		国	55.8
		差	-7.6

国語 B	[2二] 付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く。 ☆分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く。	市	26.4
		国	26.9
		差	-0.5
	[1三] 大野さん㊟の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を 書く。 ☆立場を明確にして、質問や意見を述べる。	市	27.5
		国	28.3
		差	-0.8

算数 A	[2(2)] 示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ。 ☆割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している。	市	49.7
		国	54.1
		差	-4.4
	[6] コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。 ☆作図に用いられている図形の約束や性質を理解している。	市	54.0
		国	52.0
		差	+2.0

算数 B	[3(3)] 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。 ☆示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる。	市	28.4
		国	30.6
		差	-2.2
	[5(3)] 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く。 ☆示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる。	市	30.2
		国	33.0
		差	-2.8

【中学校】

◆各教科で、平均正答率が全国平均を下回り、その差が大きい主な問題

国語 A	[8四] 国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く。 (英気を養う)。 ☆辞書を活用して、語句の意味を適切に書く。	市	55.1
		国	59.9
		差	-4.8
	[8五2] 古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す。 ☆古典と昔話とを対応させて内容を捉える。	市	66.5
		国	71.0
		差	-4.5
国語 B	[2二] 本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する。 ☆複数の資料から必要な情報を読み取る。	市	54.3
		国	60.9
		差	-6.6
	[1三] ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く。 ☆文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く。	市	42.3
		国	48.2
		差	-5.9
数学 A	[10(2)] 反比例の性質を表した記述を選ぶ。 ☆反比例の意味を理解している。	市	66.9
		国	75.9
		差	-9.0
	[5(3)] 円錐の展開図において、側面のおうぎ形の半径を読み取る。 ☆円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ることができる。	市	59.8
		国	67.7
		差	-7.9
数学 B	[3(2)] 大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する。 ☆事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる。	市	50.9
		国	62.3
		差	-11.4
	[6(1)] 弟が駅に着いたときの、兄のいる地点から駅までの道のりを求める。 ☆与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる。	市	53.2
		国	62.7
		差	-9.5

【中学校】

◆各教科で、平均正答率が低い主な問題

国 語 A	[6一] 二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する。 ☆目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する。	市	50.6
		国	54.3
		差	-3.7
	[8一2] 漢字を書く(円のハンケイを求める)。 ☆文脈に即して漢字を正しく書く。	市	50.8
		国	59.5
		差	-8.7
国 語 B	[2三] 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由 を書く。 ☆資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わ るように書く。	市	22.8
		国	28.4
		差	-5.6
	[2一] 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適 切なものを選択する。 ☆複数の資料を比較して読み、要旨を捉える。	市	31.9
		国	31.4
		差	+0.5
数 学 A	[5(4)] 円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。 ☆底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について 理解している。	市	32.0
		国	38.7
		差	-6.7
	[9] 与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、 「…は…の関数である」という形で表現する。 ☆関数の意味を理解している。	市	32.1
		国	35.8
		差	-3.7
数 学 B	[4(2)] $\angle BAC = 110^\circ$, $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大 きさを求める。 ☆付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いる ことができる。	市	19.3
		国	23.3
		差	-4.0
	[6(3)] 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラ フの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求め る方法を説明する。 ☆グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解 決する方法を説明することができる。	市	22.7
		国	29.9
		差	-7.2

(4) 設問別の概要・分析

[小学校 国語 A : 主として知識]

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 読むこと・聞くこと イ) 書くこと ウ) 読むこと エ) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式				正答率(%)				無解答率(%)			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	
1-1(1)	漢字を読む(道路の標識を見る)			5-6 (1)ウ (ア)					○			91.4	91.2	91.7	-0.3	1.4	1.7	1.7	-0.3		
1-1(2)	漢字を読む(街灯がつく)			5-6 (1)ウ (ア)				○				83.3	84.6	87.0	-3.7	2.3	2.7	2.5	-0.2		
1-1(3)	漢字を読む(塾いよく走り出す)			5-6 (1)ウ (ア)				○				74.8	73.0	74.4	0.4	0.9	1.4	1.5	-0.6		
1-2(1)	漢字を書く(料理をのせたさらを運ぶ)			5-6 (1)ウ (ア)				○				98.1	98.1	97.8	0.3	0.4	0.5	0.6	-0.2		
1-2(2)	漢字を書く(勝利をいわう)			5-6 (1)ウ (ア)				○				55.0	56.7	59.3	-4.3	5.7	6.7	6.8	-1.1		
1-2(3)	漢字を書く(かぜをよぼさうする)			5-6 (1)ウ (ア)				○				86.4	79.4	77.4	9.0	3.3	6.5	7.2	-3.9		
2-1	故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)			3-4 (1)ア (イ)				○				48.2	48.4	55.8	-7.6	0.2	0.2	0.3	-0.1		
2-2	故事成語の使い方として適切なものを選択する(百聞は一見にしかず)			3-4 (1)ア (イ)				○				43.4	43.7	49.9	-6.5	0.4	0.4	0.5	-0.1		
3	情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	3-4 オ		5-6 (1)イ (ケ)				○				59.0	57.9	58.7	0.3	0.1	0.2	0.2	-0.1		
4	新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する		5-6 ウ					○				69.2	69.8	71.7	-2.5	0.2	0.2	0.3	-0.1		
5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く		5-6 エ					○				63.1	63.4	65.3	-2.2	0.4	0.6	0.5	-0.1		
6-1	「～たり、…たり」という表現に直して書く	5-6 オ		5-6 (1)イ (キ)				○				76.3	75.1	74.9	1.4	5.1	6.3	5.7	-0.6		
6-2	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	5-6 オ		5-6 (1)イ (キ)				○				82.4	82.4	83.1	-0.7	1.6	1.7	2.0	-0.4		
7	話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する	5-6 ア						○				71.4	73.0	72.4	-1.0	1.6	1.8	2.1	-0.5		
8	言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する(はかる)			3-4 (1)イ (カ)				○				74.2	75.0	74.3	-0.1	2.2	2.3	2.7	-0.5		

【小学校 算数A：主として知識】

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 数と計算 イ) 量と測定 ウ) 図形 エ) 数量関係

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式				正答率(%)				無解答率(%)			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	との差	倉敷市	岡山県	国	との差	
1 (1)	46+57 を計算する	2A (2)ア										97.5	97.1	96.9	0.6	0.0	0.1	0.1	0.1	-0.1	
1 (2)	903×6 を計算する	3A (3)イ										92.5	93.1	92.8	-0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	-0.1	
1 (3)	9-0.8 を計算する	3A (5)イ										84.7	84.4	83.8	0.9	0.4	0.7	0.8	0.8	-0.4	
1 (4)	2÷5 を計算する	4A (5)ウ										88.8	90.1	91.8	-3.0	0.8	1.0	0.9	0.9	-0.1	
1 (5)	100-20×4 を計算する		4D (2)ア									90.4	87.8	80.9	9.5	0.2	0.4	0.5	0.5	-0.3	
1 (6)	1/3+2/5 を計算する	5A (4)オ										89.4	91.6	90.6	-1.2	0.8	0.9	1.1	1.1	-0.3	
2 (1)	示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	5A (3)ア										68.8	70.0	71.9	-3.1	0.2	0.3	0.3	0.3	-0.1	
2 (2)	示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	5A (3)ア										49.7	51.2	54.1	-4.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	
3	示された分数の中から、1/2より大きいものを選ぶ	5A (4)ア イエ										69.2	70.6	72.5	-3.3	0.4	0.7	0.6	0.6	-0.2	
4 (1)	8m ² に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ	5B (4)ア										82.3	81.5	82.3	0.0	0.7	0.8	0.7	0.7	0.0	
4 (2)	8m ² に16人いるAの部屋について、1m ² 当たりの人数を求める式を書く	5B (4)ア										61.1	60.3	60.8	0.3	2.8	3.6	3.4	3.4	-0.6	
5 (1)	直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く		5C (1)エ									86.4	84.8	83.9	2.5	1.4	2.1	1.5	1.5	-0.1	
5 (2)	1cm ³ の立方体を基に、示された直方体の体積を求める	5B (2)ア										77.6	78.2	81.1	-3.5	1.6	2.1	1.8	1.8	-0.2	
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ		4C (1)ア アイ									54.0	54.1	52.0	2.0	0.2	0.5	0.6	0.6	-0.4	
7	縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面⑦になる四角形を選ぶ		2C (1)ウ 4C (2)ア									66.5	65.5	69.4	-2.9	0.3	0.6	0.7	0.7	-0.4	
8	答えが100-20×4の式で求められる問題を選ぶ		4D (2)ア									82.5	81.7	81.0	1.5	0.4	0.8	0.9	0.9	-0.5	
9	正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ		5C (1)ア 等									81.2	81.3	82.0	-0.8	0.8	1.2	1.2	1.2	-0.4	

【小学校 国語B：主として活用】

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 読むこと・聞くこと イ) 書くこと ウ) 読むこと エ) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式				正答率(%)				無解答率(%)			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ	選択式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差
1一	司会④の発言の内容をまとめて書く	5.6オ				○					○	65.4	65.3	65.2	0.2	6.6	8.0	7.9	-1.3	
1二	林さん⑤の質問のねらいとして適切なものを選択する	5.6エ				○				○		59.6	60.4	60.2	-0.6	2.7	3.1	3.5	-0.8	
1三	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問が意見を書く	5.6エ	5.6ウ			○	○	○			○	27.5	28.5	28.3	-0.8	4.9	6.3	5.0	-0.1	
2一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く		5.6ウ					○			○	71.6	70.6	71.9	-0.3	8.5	9.3	8.2	0.3	
2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く		5.6ウ					○			○	26.4	25.8	26.9	-0.5	7.1	8.5	7.4	-0.3	
2三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く		5.6イ					○			○	64.2	64.7	66.0	-1.8	3.9	4.4	4.3	-0.4	
3一(1)	【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する		5.6エ	5.6(イ)(カ)				○	○			79.1	78.7	80.4	-1.3	4.0	4.3	4.4	-0.4	
3一(2)	【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する		5.6エ	5.6(イ)(カ)				○	○			59.0	58.6	59.2	-0.2	4.9	5.2	5.5	-0.6	
3二	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する		3.4オ					○			○	47.7	48.7	48.5	-0.8	19.0	19.2	19.8	-0.8	
3三	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く		5.6ウ	5.6エ				○	○			48.1	46.2	48.1	0.0	25.3	27.9	26.0	-0.7	

【小学校 算数B：主として活用】

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 数と計算 イ) 量と測定 ウ) 図形 エ) 数量関係

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 算数への関心・意欲・態度 イ) 数学的な考え方 ウ) 数量や図形についての技能 エ) 数量や図形についての知識・理解

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			正答率(%)				無解答率(%)				
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ウ	エ	記述式	選択式	倉敷市	岡山県	国	国との差		
1 (1)	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	3A (3)ア					○					○	94.5	94.6	94.6	0.2	0.3	0.3	-0.1
1 (2)	二人の説明を基に、 37×24 の積が888になることを書く	2A (1)エ (3)ア (3)ア		4D (3)ア			○				○		54.6	54.6	55.2	4.5	5.8	6.0	-1.5
2 (1)	6・7月の水の使用量 1500m^3 は、プールに入る水の量 250m^3 の何倍かを求める式と答えを書く	4A (1)エ (3)イ	5B (2)ア				○				○		81.5	81.6	82.5	3.1	3.7	3.0	0.1
2 (2)	1日盛りを 50m^3 として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すと、棒が縦20マスの中に入らない月を選び、そのわけを書	5B (2)ア		3D (3)ア			○				○		69.6	69.4	69.1	1.8	2.2	2.6	-0.8
2 (3)	6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の $1/4$ より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ	5B (2)ア		3D (3)ア 等			○				○		55.6	57.6	61.5	1.1	1.2	1.2	-0.1
3 (1)	昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く	3B (3)イ					○				○		35.4	36.7	38.6	3.1	3.9	3.4	-0.3
3 (2)	40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	1A (1)キ 2A (3) (1)オ									○		53.2	54.8	56.7	2.0	2.2	1.8	0.2
3 (3)	示された分け方でスープを分けるとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く		2B (2)ア 等				○				○		28.4	30.0	30.6	1.6	1.9	1.9	-0.3
4 (1)	㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	1A (1)イ		4D (1)ア			○				○		63.1	62.8	62.2	1.7	2.1	1.7	0.0
4 (2)	二人の㊦のリズムが重なる12小節目の12ほどのような数であるかを書く	5A (1)イ					○				○		54.5	57.1	60.5	12.6	14.2	12.1	0.5
5 (1)	量の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をか			2C (1)イ			○				○		60.9	62.0	65.7	5.6	5.6	5.2	0.4
5 (2)	使いやすい箸の長さの目安を基に、一あた半の長さを表している図を選	5A (3)ア									○		41.8	43.9	46.1	3.3	3.9	3.5	-0.2
5 (3)	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	5A (3)イ		5D (3)			○				○		30.2	30.2	33.0	12.0	14.9	13.1	-1.1

[中学校 国語A：主として知識]

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 読むこと・聞くこと イ) 書くこと ウ) 読むこと エ) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 国語への関心・意欲・態度 イ) 話す・聞く能力 ウ) 書く能力 エ) 読む能力 オ) 言語についての知識・理解・技能

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式				正答率(%)				無解答率(%)			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国との差	倉敷市	岡山県	国との差			
1-1	フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する	2 ウ										78.0	78.5	78.6	0.2	0.3	0.2	0.0			
1-2	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	1 エ										79.2	79.5	80.3	0.3	0.3	0.2	0.1			
2-1	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	2 ウ										90.2	90.0	90.9	0.3	0.3	0.3	0.0			
2-2	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	2 エ										77.6	77.5	79.8	0.4	0.6	0.5	-0.1			
3-1	主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	1 ウ										89.8	90.5	91.9	0.7	0.8	0.8	-0.1			
3-2	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	1 ア										77.0	77.7	79.8	6.6	6.5	6.0	0.6			
3-3	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものとして適切なものを選択する	2 イ										77.1	77.3	79.1	0.4	0.4	0.3	0.1			
4-1	ウェブページの項目として適切なものを選択する	1 イ										90.3	91.3	92.6	0.4	0.5	0.4	0.0			
4-2	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	1 エ										78.8	80.2	80.5	0.4	0.5	0.4	0.0			
5-1	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	2 ア										75.3	75.6	78.2	0.5	0.6	0.4	0.1			
5-2	「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する	2 イ										82.8	83.4	85.6	0.8	0.9	0.7	0.1			
6-1	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	2 オ										50.6	51.5	54.3	0.9	1.0	0.9	0.0			
6-2	話合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	1 オ										74.1	74.8	76.0	5.1	5.0	4.4	0.7			
7-1	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	2 ア										81.0	81.6	84.6	1.3	1.3	1.1	0.2			
7-2	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	2 オ										69.2	69.4	72.1	3.6	3.3	3.0	0.6			
8-1	漢字を書く(地域の人をシヨウタイする)											54.6	59.0	57.6	14.7	13.2	11.9	2.8			
8-2	漢字を書く(円のハンケイを求め)											50.8	55.9	59.5	19.0	16.0	15.2	3.8			

【中学校 数学 A：主として知識】

「学習指導要領の領域等」のカタカナ表記の意味・・・ア) 数と式 イ) 図形 ウ) 関数 エ) 資料の活用

「評価の観点」のカタカナ表記の意味・・・ア) 数学への関心・意欲・態度 イ) 数学的な見方や考え方 ウ) 数学的な技能 エ) 数量や図形などについての知識・理解

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式				正答率(%)				無解答率(%)			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	国	国との差	倉敷市	岡山県	国	国との差	
1 (1)	$3/4 \div 5/6$ を計算する	小6 (1) イ							○		○	82.8	85.1	85.8	-3.0	5.0	3.7	2.8	2.2		
1 (2)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	1 (1) ウ							○		○	64.6	67.8	70.7	-6.1	3.1	2.4	1.5	1.6		
1 (3)	-7の絶対値を書く	1 (1) ア							○		○	83.1	84.0	81.0	2.1	5.6	5.0	5.9	-0.3		
1 (4)	35を基準にして38を正の数で表す	1 (1) ア,エ							○		○	89.5	90.3	91.1	-1.6	4.3	3.5	2.3	2.0		
2 (1)	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く	1 (2) エ							○		○	42.6	46.6	45.2	-2.6	15.0	12.5	11.1	3.9		
2 (2)	$10xy \div 5x$ を計算する	2 (1) ア							○		○	87.9	89.6	90.7	-2.8	4.7	3.7	2.4	2.3		
2 (3)	$a = 2, b = 3$ のときの式 ab^2 の値を求める	2 (1) イ							○		○	77.4	79.6	82.6	-5.2	10.0	8.0	5.9	4.1		
2 (4)	男子 m 人と女子 n 人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、 m と n を用いて表した式を選ぶ	2 (1) イ							○		○	87.3	88.6	91.2	-3.9	0.8	0.8	0.4	0.4		
3 (1)	一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ	1 (3) イ							○		○	85.1	86.9	89.7	-4.6	0.8	0.9	0.6	0.2		
3 (2)	一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く	1 (3) ウ							○		○	55.1	57.2	59.5	-4.4	16.3	15.0	12.4	3.9		
3 (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	2 (2) ウ							○		○	72.5	73.6	74.1	-1.6	1.3	1.3	1.0	0.3		
3 (4)	連立二元一次方程式を解く	2 (2) ウ							○		○	63.2	64.1	67.2	-4.0	14.4	13.1	10.0	4.4		
4 (1)	線対称な図形を完成する	小6 (1) イ							○		○	91.7	92.4	93.8	-2.1	4.3	3.8	2.5	1.8		
4 (2)	与えられた方法で作図される直線について、正しい記述を選ぶ	1 (1) ア							○		○	52.2	53.8	56.0	-3.8	1.0	1.0	0.7	0.3		
4 (3)	与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ	1 (1) イ							○		○	39.5	42.6	42.5	-3.0	0.7	0.8	0.6	0.1		
5 (1)	立方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く	2 (2) ア							○		○	75.0	78.5	81.0	-6.0	7.9	6.3	4.2	3.7		
5 (2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ	1 (2) イ							○		○	81.8	82.7	84.8	-3.0	0.8	0.9	0.5	0.3		

(5) 平均正答率が低い活用問題から

○活用問題（B問題）で倉敷市の平均正答率が最も低い問題を掲載しています。

○各問題の掲載項目

- ・ 学校種・教科の別
- ・ 問題
- ・ 正答, 正答例
- ・ 市, 全国それぞれの平均正答率とその差
- ・ 出題の趣旨
- ・ 学習指導に当たって

小学校国語B

2

二

〔正答〕

(例) すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物を探さずことや、仲間を見つけることもできる。調べていくうちに新たな質問も出た。においを感じ取ることにすぐれた動物とはどのような動物かということだ。例えば、イヌはどれくらい先においを感じ取るのか調べたい。

市	26.4
国	26.9
差	-0.5

〔出題の趣旨〕

- 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 分かったことや疑問に思ったことを、条件に応じてまとめた文章にして書く。必要な情報を取り出し、分類したり関係付けたりした上で全体を通して分かったことや考えたことを一定のまとめた文章にして書くことが重要である。その際、構成や記述などについて、条件を示すことは有効である。

③長い鼻を使うことで、できること。
(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

【新たな疑問】

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【原田さんのまとめ】

ぼくが、ぎ問に思った「**A**」
ということについて、次のことが分かった。
大昔のゾウの鼻は、今のゾウの鼻よりも短かったが、体が大型化し、口が地面からはなれていったようだ。そして、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようである。長い鼻を使うことで、食べ物をつかんだり、水をすいあげて飲んだりすることができ、また、水浴びや、あいさつをすることもできる。調べていくうちに新たなぎ問も出た。鼻の短い動物の鼻の役目は何かということだ。例えば、カバやブタは、鼻を使って何ができるのか調べたい。

③すぐれた鼻を使うことで、

【新たな疑問】

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？

・イヌは、どれくらい先のおいを感じ取るのか。

【野口さんのまとめ】

わたしが、ぎ問に思った「ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。」ということについて、次のことが分かった。
ゾウの鼻は、長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。二、三キロメートル先のおいをかぎ分けるともいわれている。すぐれた鼻を使うことで、

B

二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら【疑問】に対するまとめを書いていきます。
 【野口さんのまとめ】の **B** の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、【原田さんのまとめ】の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【野口さんのふせん】③と④の両方の内容を使って書くこと。
- 【野口さんのふせん】③の内容については、「科学読み物」の **部**の二文を一文にして書くこと。また、④の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】

A



原田さん

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、においを感じ取ることができるのか。



野口さん

「分かったこと」

①長いからといって、においを感じ取るこゝとができないわけではない。

②二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれている。

例えば、食べ物をつかんで口に運んだり、水をすいあげて飲んだりすることができません。また、すいあげた水をシャワーのようにして浴びたり、鼻をからませ合ってあいさつをしたりすることもできません。このように、ゾウの長い鼻は、生活する上でさまざまなことに役立っているのです。

ゾウの鼻は、ほかの動物たちと同じように、におい

鼻を高く上げて遠くのにおいをかぐゾウの写真

▲高く鼻を上げて遠くのにおいをかぐゾウ

を感じ取ることもできません。長いからといって、においを感じ取ることができないわけではないのです。むしろ、においを

感じ取ることについては、ひじょうにすぐれており、二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれています。

すぐれた鼻を使うことで、水場や食べ物をさがすこともできます。また、においのちがいで仲間を見つけてもできます。

ゾウのほかにも、においを感じ取ることについてすぐれた動物はたくさんいます。

（内容が続く）

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやブタは、鼻を使って何ができるのか。

【野口さんのふせん】

①長いからといって、においを感じ取ることができないわけではない。

②二、三キロメートル先のにおいをかぎ分けるともいわれている。

③すぐれた鼻を使うことで、

④においを感じ取ることにすぐれた動物はどのような動物か？
・イヌは、どれくらい先のにおいを感じ取るのか。

原田さんと野口さんは、校外学習で動物園に行き、ゾウの鼻について下のような【疑問】をもちました。そこで二人は、それぞれの疑問を解決するために、次の【科学読み物】を読みました。

【科学読み物】の下の【原田さんのふせん】、【野口さんのふせん】は、分かったことや新たな疑問を書いたものです。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※【科学読み物】の中の印についての説明

— 部…分かったこと

〜 部…新たな疑問に関係する部分

【科学読み物】

鼻にとくちようがある動物というと、みなさんはどのような動物を思いうかべますか。きっとゾウを思いうかべる人が多いことでしょう。ゾウといえ、長い鼻がとくちようの一つです。では、ゾウの鼻はどうして長いのでしょうか。

大昔のゾウの体は、今のゾウの体よりもずっと小さかったといわれています。鼻も今より短かったのですが、長い年月の間に体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようです。それとともに、鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったと考えられています。

ゾウは、長い鼻を使っていろいろなことができます。

【疑問】

【原田さんの疑問】

A

【野口さんの疑問】

ゾウの長い鼻は、おいを感じ取ることができるのか。



野口さん



原田さん

※「ふせん」…分かったことや疑問などを書いて、本や文章に目印として付ける紙。

【原田さんのふせん】

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだんと大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻と上くちびるがいっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③長い鼻を使うことで、できること。
(食べ物をつかむ、水をすいあげて飲む、水浴び、あいさつ)

小学校算数B

3

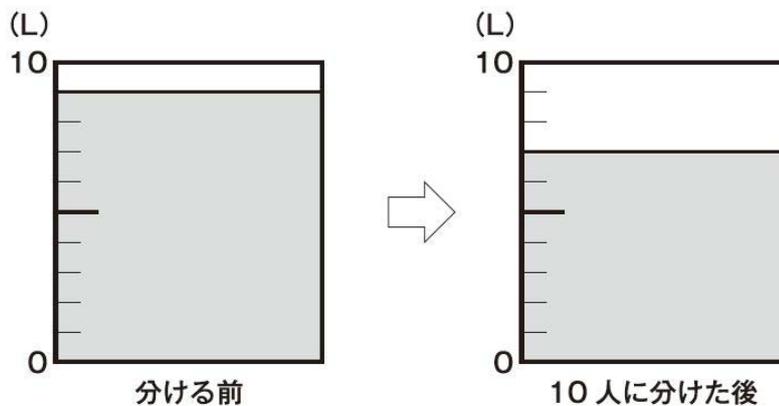
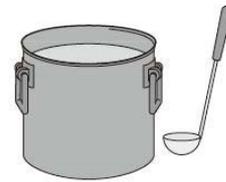
かつやさんの学級では、^{しゅくはくがくしゅう}宿泊学習の計画を立てています。

かつやさんたちは、昨年の昼食時間について、下の2つの問題点があったことを先生から聞き、解決方法を話し合うことにしました。

- ① ゆっくり準備したので、食事の時間や片付けの時間が短かった。
- ② ご飯を分け終わったとき、足りなくなったり、残ったりした。

(3) ともみさんは、右のような入れ物に入っているスープを分ける係になりました。

ともみさんは、玉じゃくし1ぱいを1人分として、40人に分け始めました。すると、分ける前と10人に分けた後では、下の図のようになりました。



この分け方で、残りの30人にスープを分けることができますか。次の**1**から**3**までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉と数を使って書きましょう。

- 1** 足りなくなって、分けることができない。
- 2** 残さず分けることができる。
- 3** 分けることはできるが、残る。

〔正答〕

番号 3

わけ (例)10人分のスープの量は、 $9-7=2$ で、2L です。
残りの30人に必要なスープの量は、 $2\times 3=6$ で、6L です。
10人に分けた後では7L残っているの、30人に分けると、 $7-6=1$ で1L残ります。だから分けることはできますが、残ります。

市	28.4
国	30.6
差	-2.2

〔出題の趣旨〕

- 示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 問題の解決に必要な情報を選択し、根拠となる事実を関連付けることで、解決の方法や判断の理由を説明することができるようにする。問題を解決した過程を説明する際には、問題（文章や図、表、グラフ等）から必要となる情報を選択するとともに、根拠となる事実を関連付けて、判断の理由を的確に示すことが大切である。

中学校国語B

【問題文は P38 から】

2

三 封筒に貼ってある切手を水の中に入れてしばらく浸しておく、きれいにはがすことができるようになります。その理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書くこと。

条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

〔正答〕

(例)切手を水に浸すことで、固体となっていたのりが液体となり、アンカー効果がなくなるから。

市	22.8
国	26.8
差	-5.6

〔出題の趣旨〕

- 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 内容が正確に伝わるように説明する。
本や文章を読んで得られた知識は、他の人に向けて説明することで一層明確になるとともに定着が図られる。説明する際には、複数の情報を正確に理解し、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして、説明する内容を適切に表現することが求められる。

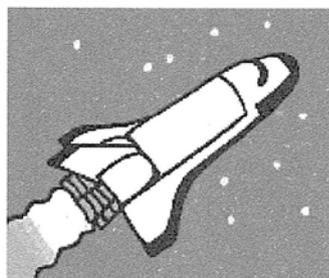
■飛行機

飛行機の機体を組み立てるときにも接着剤を使います。以前はリベット（びょう）でとめていましたが、接着剤を利用することで空気抵抗が少なく、機体が軽くなるので、速度性能や燃費が向上しました。また、リベットは点で固定していますが、接着剤でとめると、面で固定できるので、強度を増すことができます。



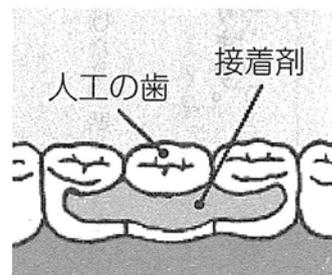
■スペースシャトル

スペースシャトルの表面にはたくさんのタイルが接着剤でつけられています。大気圏に突入するときのまさつねつと宇宙空間での太陽熱にたえるために、スペースシャトルの材料にはタイルが使われています。そのタイルが割れたり、はがれたりしないように、弾力があり、1500℃の高温にもたえるすぐれた接着剤が使われています。



■医療用接着剤

歯医者さんで歯につめものをしたり、人工の歯をつけたりするときには医療用の接着剤を使います。また、骨をつなげたり、食道や胃、血管などをつなぎあわせるときに使われる接着剤も開発されています。



■食品の容器

牛乳の紙パックは熱と圧力を加えてくっつけています。プリンやゼリーのふたのフィルムは、しっかりと密閉し、食べるときには簡単にはがせるような接着剤が使われています。



の部分は、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分や溶剤が蒸発することで、接着剤が液体から固体になる点で共通しています。また、アイロンでくつつけるタイプのアップリケ(注2)の場合は、固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けていったん液体になり、それが冷えて固体になることでくつつきます。このように、熱を加えて接着剤を一度溶かし、その後、液体が冷えて固まることでくつつく接着剤をホットメルト接着剤といいます。他にも、液体が化学変化を起こして固体になるものがあります。例えば、瞬間接着剤はその一例です。物の表面には、乾いているように見えてもわずかに水分が含まれています。また、空気中にも水分が含まれています。瞬間接着剤は、それらの水分に反応し、非常に速いスピードで固体に変化するのです。

最後に、接着剤がどのような場面で使用されているか考えてみましょう。

接着剤の用途を調べると、思いもよらないものに接着剤が使用されていることに気がきます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤を使用しています。電子部品を作る際にも、金属の粉などを混ぜた接着剤を使用することがあります。また、つり橋の中には、橋を支えているロープを、コンクリートでできた土台の中に接着剤で固定していることもあります。このように、現代において接着剤は、様々な場面で使用されています。

(注1) 溶剤＝物質を溶かすのに用いる液体状のもの。

(注2) アップリケ＝布地の上に、別に切り抜いた布や革を縫い付けたり、貼り付けたりする手芸。また、その付けられたもの。

※ 【インターネットの情報の一部】は、次のページにあります。

2

次は、接着剤について書かれた【本の一部】と【インターネットの情報の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【本の一部】

いろいろな物をくっつけることができる接着剤。物を組み立てるときや壊れた物を直すときなどに、とても便利なものです。なぜ接着剤は物と物をくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みで考えてみましょう。

接着する物の表面を

顕微鏡で見ると、

つるつるしているよう

に見える金属でも、そ

の表面には肉眼では見

えない凹凸があること

が分かります。そこに

接着剤を塗ると、凹凸

のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これをアンカー効果と

いいます。アンカーとは船の錨いかりのことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておく様子に

例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態での物の表面に広く行き渡った接着剤が、すき間に入って固体となることで、

物と物とをくっつけているのです。

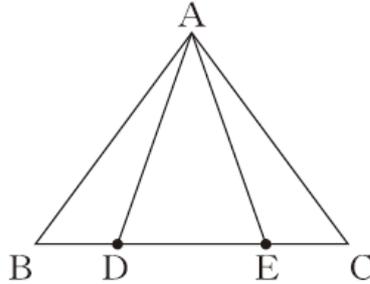
次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。

接着剤が液体から固体になる変化には、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分や溶剤(ほし)を含んでいて、それらが蒸発することで固まります。水分を含んでいない切手の場合も同様で、切手の裏側のり



中学校数学B

- 4 下の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の辺 BC 上に
 $BD = CE$ となる点 D 、点 E をそれぞれとります。



- (2) $\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求めなさい。

〔正答〕

40度

市	19.3
国	23.3
差	-4.0

〔出題の趣旨〕

- 付加された条件の下で証明を振り返って考え、証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄を用いることができるかどうかをみる。

〔学習指導に当たって〕

- 証明の過程や結論を基に、発展的に考えることができるようにする。発展的に考えることができるようにするために、与えられた性質を証明するだけでなく、条件を変えたり証明を読んだりすることを通して、新たな性質を見いだすことができるように指導することが大切である。

4 児童生徒質問紙から見える特徴

(1) 肯定的な回答の割合が全国平均より高い質問（高い方から5問）

【小学校】

質問項目	市	国	差
○5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	77.2	71.9	+5.3
○読書は好きですか。	78.1	73.0	+5.1
○5年生までに受けた授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	86.6	82.0	+4.6
○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	81.4	79.7	+1.7
○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	51.0	49.5	+1.5

【中学校】

質問項目	市	国	差
○友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。	72.9	70.3	+2.6
○自分には、よいところがあると思いますか。	69.5	67.1	+2.4
○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	50.3	48.6	+1.7
○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	75.8	74.1	+1.7
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	94.0	93.4	+0.6

○小学校では、授業における「目標の明示」や「学習の振り返り」等で肯定的な回答の割合が高く、授業改善の取組の成果が現れていると考えられる。

○中学校では、友達との関係に関する項目で肯定的な回答の割合が高い。

○小・中学校ともに、自尊感情や規範意識に関する項目で肯定的な回答の割合が高く、経年的に見ても同様の傾向が現れている。

○H26から加わった「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の項目では、小・中学校ともに肯定的な回答の割合が高い。

(2) 肯定的な回答の割合が全国平均より低い質問（低い方から5問）

【小学校】

質問項目	市	国	差
○今住んでいる地域の行事に参加していますか。	61.2	68.0	-6.8
○国語の授業の内容はよく分かりますか。	76.8	80.1	-3.3
○国語の勉強は好きですか。	56.4	59.2	-2.8
○5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。	74.6	77.3	-2.7
○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいとは思わない。	33.8	36.4	-2.6

【中学校】

質問項目	市	国	差
○家で、学校の授業の復習をしていますか。	36.2	50.4	-14.2
○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。	42.8	54.8	-12.0
○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	45.9	56.1	-10.2
○国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	39.5	49.1	-9.6
○1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	43.9	53.3	-9.4

○小学校では、「地域の行事に参加していますか。」の項目が今年度も、全国との差が一番大きかったが、その差は縮まっている。※H25の差は-9.4ポイント

○中学校では、「家で、学校の授業の復習をしていますか。」の項目が今年度も、全国との差が一番大きく、その差は広がっている。※H25の差は-12.9ポイント

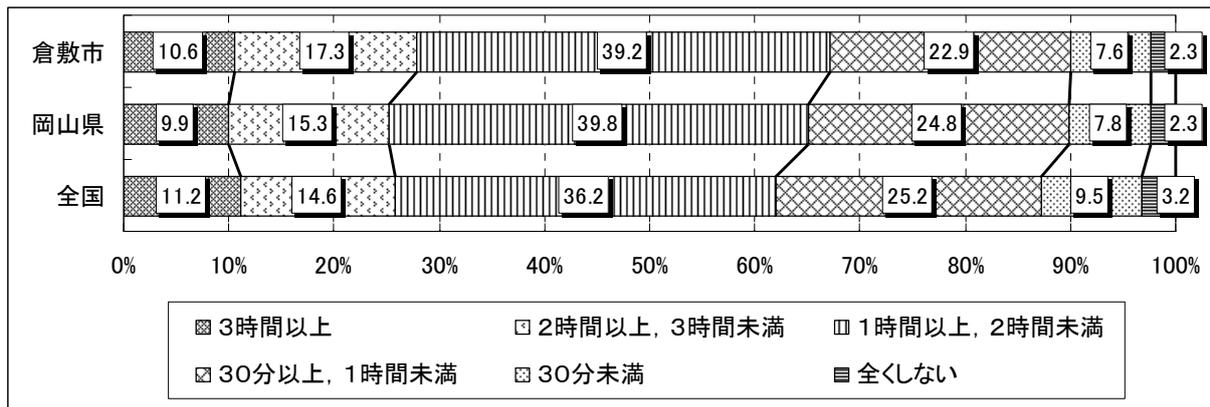
○小・中学校ともに、国語に関する項目で肯定的な回答の割合が低い傾向にある。

無回答の児童生徒がいるため、数値の合計が100%になっていない場合がある。

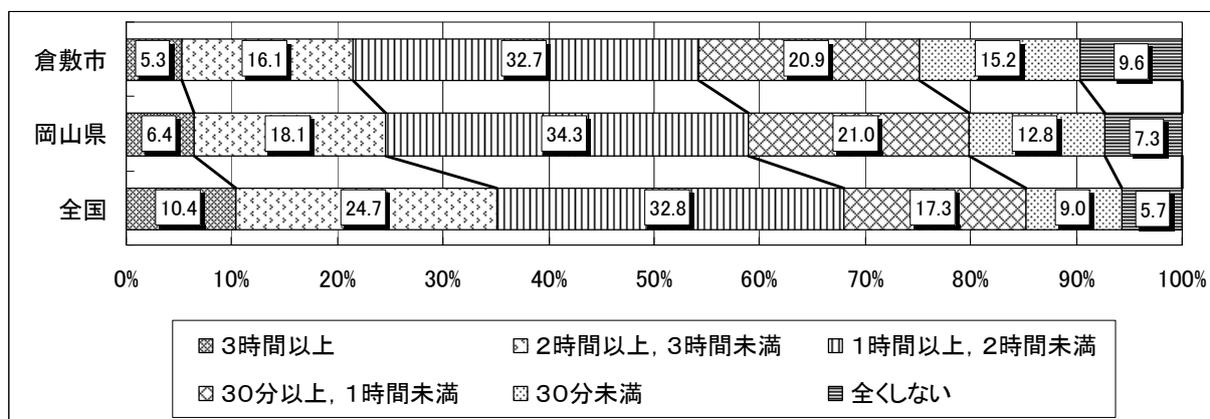
(3) 質問ごとの分析

① 学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾や家庭教師含む)

【小学校】※肯定的な回答の割合が高い



【中学校】※肯定的な回答の割合が低い



○ 1時間以上学習する児童の割合【小学校】

* H26 倉敷市 : 67.1 全国 : 62.0 差 : +5.1

* H25 倉敷市 : 65.5 全国 : 63.2 差 : +2.3

○ 1時間以上学習する生徒の割合【中学校】

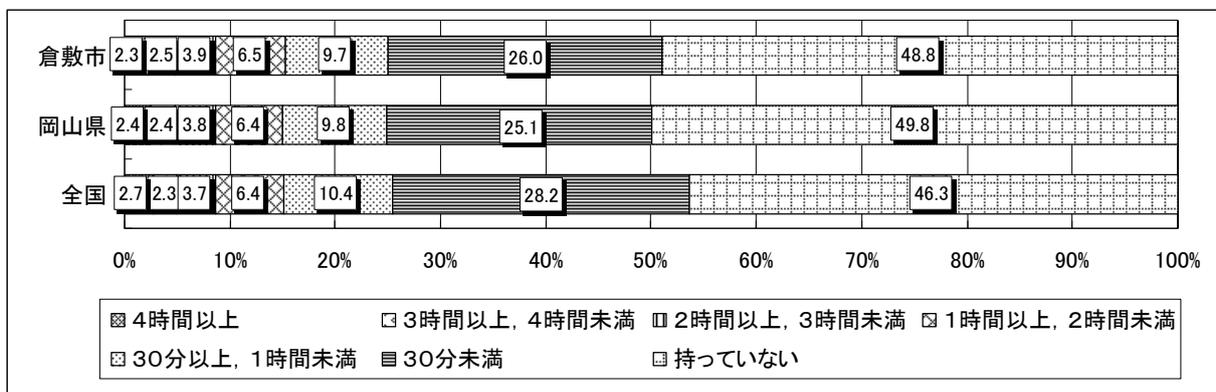
* H26 倉敷市 : 54.1 全国 : 67.9 差 : -13.8

* H25 倉敷市 : 58.2 全国 : 68.6 差 : -10.4

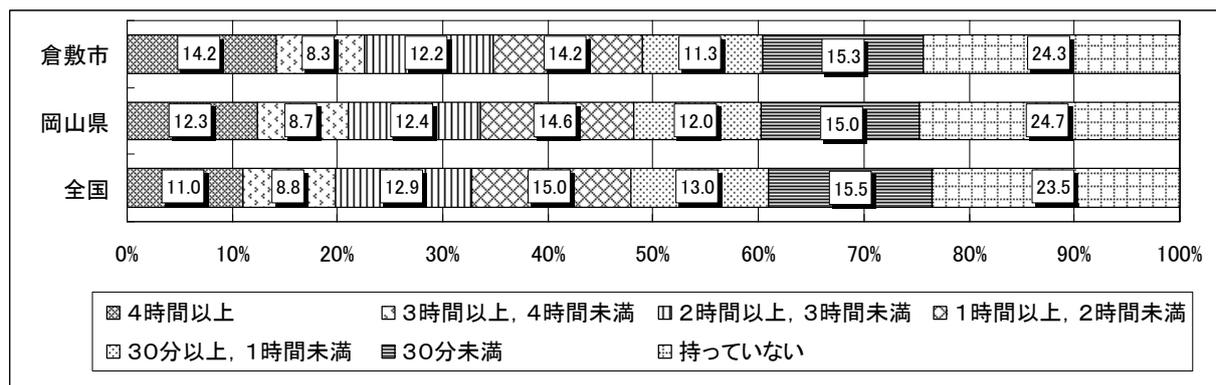
○小学校については、全国平均よりも学習時間は多く、H25との経年比較でも増加している。一方、中学校については全国平均と比べて少なく、H25との経年比較でも減少しており、大きな課題として捉える必要がある。

② 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

【小学校】



【中学校】



○ 2時間以上の児童の割合【小学校】

* 倉敷市：8.7 全国：8.7 差：±0.0

○ 2時間以上の生徒の割合【中学校】

* 倉敷市：34.7 全国：32.7 差：+2.0

○ 携帯・スマートフォンの所持率【小学校】

* H26 倉敷市：51.2 全国：53.7 差：-2.5

* H25 倉敷市：43.5 全国：46.1 差：-2.6

○ 携帯・スマートフォンの所持率【中学校】

* H26 倉敷市：75.7 全国：76.5 差：-0.8

* H25 倉敷市：62.3 全国：64.7 差：-2.4

○ 所持率が，小学校では50%，中学校では75%を超えており，使用時間等も含めて今後も増加すると考えられる。使用方法や使用時間帯等の約束事について，再確認したり，話し合っ
て新たに決めたりすることが大切である。

5 総括

(1) 学力調査の結果から【○成果 ●課題】

◆小学校国語について

- A問題の漢字の読み書きの設問について、全国との差が縮小するなど改善が見られる。「よぼう」を漢字で書く問題では、全国の平均正答率を9.0ポイント上回っている。
- A問題・B問題ともに無回答率が改善しており、全国平均を上回っていたのは全25問中1問であった。
- A問題の故事成語に関する設問については全国平均との差が大きく、言葉の意味や使い方の理解に課題が見られる。
- B問題の「立場を明確にして、質問や意見を述べる」趣旨の問題等、記述の問題に引き続き課題が見られる。

◆小学校算数について

- 経年的な課題であった基礎的な計算問題に改善が見られる。「 $100 - 20 \times 4$ 」の四則混合の問題では、平均正答率90%を超えており、全国平均を9.5ポイント上回っている。
- A問題・B問題ともに無回答率が改善しており、全国平均を上回っていたのは全30問中3問であった。
- 割合の問題や、理由を記述する問題に引き続き課題が見られる。

◆中学校国語について

- H24に実施した岡山県学力・学習状況調査の県の平均正答率と比べると、その差が縮まっている。
- A問題32問・B問題9問中、全国の平均正答率を上回っていたのは、それぞれ1問であり、各分野で課題が見られる。
- 無解答率は、全ての問題で全国の無解答率以上の数値になっている。

◆中学校数学について

- H24に実施した岡山県学力・学習状況調査の県の平均正答率と比べると、その差が縮まっている。
- 設問ごとの平均正答率は全般的に全国平均を下回っているが、数学Aの反比例のグラフや確率についての設問はこれまで同様全国平均を上回っている。
- 全国平均と比較すると数学Aでは4.0ポイント、数学Bでは6.0ポイント下回っており、各分野で課題が見られる。
- 全51問中、全国の無解答率を下回っているのは1問である。

(2) 児童生徒質問紙の結果から【○成果 ●課題】

◆小・中学校共通の内容について

- 自尊感情や規範意識に関する項目について、肯定的な回答の割合が高い傾向があり、経年的にも同様の傾向がある。
- H26から加わった「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の項目で、肯定的な回答の割合が高い。
- 国語に関する項目、言語活動に関する項目で、肯定的な回答の割合が低い。

◆小学校について

- 家庭での学習時間は全国平均よりも多く、経年的に比較しても児童の学習時間は増える傾向にある。
- 授業における「目標の明示」や「学習の振り返り」等で肯定的な回答の割合が高い。
- 今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が低く、経年的にも同様の傾向がある。

◆中学校について

- 友達との関わりに関する項目で、肯定的な回答の割合が高い。
- 家庭での学習時間は全国平均よりも少なく、経年的に比較しても生徒の学習時間は減る傾向にある。
- 携帯電話やスマートフォンの所持率が高くなり、メールやインターネットを利用する時間が長い生徒が多い。

(3) 考察

- ◇昨年度、全国との比較で一番課題であった小学校算数Aで改善が見られた。これは、春休みの課題の配付、放課後の補充学習等、様々な学力向上の施策が成果となって現れていると考えられるので、今後も維持向上させていくことが大切である。
- ◇春休みの課題への取組が特に有効であったことが、分析から明らかになっている。全国や岡山県の調査を活用し、効果的に復習するサイクルを確立し、学力の定着を図ることが重要である。
- ◇中学校については、国語も数学も全国との比較から、基礎問題、活用問題ともに課題が見られる。小学校で有効であった施策を中学校でも実施するなど、改善を図る必要がある。
- ◇小・中学校ともに活用問題に引き続き課題があることから、「岡山型学習指導のスタンダード」を有効に活用し、一単位時間の中で「自分で考え表現する時間を確保する」ことを充実させていくことが大切である。また、書く活動の際には、文字数を指定したり、時間制限を与えたりするなどの取組を継続的に実施することを、引き続き啓発する必要がある。
- ◇授業改善に向けて、校内での授業研究、他校での研究会への参加、異校種間での連携をさらに進めていく必要がある。校内での研究が一部の教員にとどまることなく、また、他校で学んだことを広く他の教員と共有することができるような手立てが必要である。